

第17回北海道ミックスタブルス
カーリング選手権大会札幌地区予選

チームミーティング資料
(審判長事前通知)

どうぎんカーリングスタジアム

2023年10月21日~22日

大会審判長 金内 紀子

カーリング精神

カーリングは技術と伝統のゲームです。技を尽くして決められたショットは見る喜びです。また、ゲームの神髄に通じるカーリングの古くからの伝統を見守るのは素晴らしいことです。カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見くんだりしません。真のカーラーは相手の気を散らしたり、相手がベストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。

カーラーは、ゲームの規則を破ったり、その伝統を決して軽視したりしません。不注意にもこれが行われていると気がついた場合、その違反を真っ先に申し出ます。

カーリングの主な目的が、プレーヤーの技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやりの気持ち、そして尊敬すべき行為を求めています。

この精神は、アイスに乗っているいないに関わらず、ゲームの規則の解釈や適用に生かされるだけでなく、全ての参加者の振舞いにも生かされるべきものです。

はじめに

本大会は、12月16日から17日にかけて行われる第17回道央ブロックミックスタブルスカーリング選手権大会に出場する12チームを選出する大会です。本大会はJCA競技規則2022.11改正版を適用します。なお、特に必要があると認められたときは、大会中に追加通知を行う場合がありますので留意願います。また、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分実施した中での開催となります。選手各位においてもJCA通知、どうぎんカーリングスタジアム利用などのガイドラインを十分把握し、予防対策を行った上で大会に参加されますようお願いいたします。

今回は試合前のチームミーティングは実施しません。

1. 競技方式

競技方法は開催要項で示したとおりですが、ブロック分けなど詳細は別途通知します。

予選ブロック（A～Fまでの6ブロック）と決定戦とします。

各ブロックにて総当たり1回戦を行い、最終エンドで同点の場合は引き分けとし、エキストラエンドは行いません。

2. 試合の長さ

予選ブロック及び決定戦は6エンドとします。

決定戦において最終エンド終了時点で同点の場合はエキストラエンドを行い、勝敗を決定します。

3. 順位決定方法

予選ブロックの順位決定はポイントによる序列とします。（各ブロック内の順位は考慮しません）ポイントが同じの場合はLSD（予選3試合分：計6投）の記録により序列を決定します。LSDが同値の場合は、最小の記録を持つチームを上位とし、それも同値の場合はコイントスにて決定します。

ポイントは勝ち3点、引き分け1点、負け0点とします。

全体の序列はポイントの多いチームから順に決定していき、1から8までの8チームは道央ブロック選手権大会に出場します。9から16までの8チームは決定戦に進出し、勝者が道央ブロック選手権大会に出場します。

4. ストーンの割り当てと配置

（1）予選の先練習（赤色のハンドル）、後練習（黄色のハンドル）はタイムスケジュールに示した★印が先練習となります。**★印が付されていない試合についてはコイントスにて練習の順番または石の色を決定してください。**

（2）決定戦は序列上位が練習の順番または石の色を選択することができます。

（3）ハウス前に置くストーン（A）の位置については、試合開始前に本部前の掲示板に明示します。

（4）使用する6個のストーンは大会事務局が試合前に選定します。

5. 試合前練習及びLSD

予選及び代表決定戦の開始前に、各チームにはゲームストーンのみを使った練習が許可されます。時間は3分間とします。練習に関する指示は審判長が行います。

練習開始はタイムスケジュールに示されている開始時間とします。赤色のストーンのチームが行い、終わり次第黄色のストーンのチームの練習が開始されます。それぞれのチームは練習終了後に直ちにLSDを行ってください。

ラストストーンドロウ（LSD）（競技規則 C8（b）、（c）、（d）

異なるプレーヤーが時計回りと反時計回りの回転で投球してください。最低投球回数は予選ブロックでは時計回り1投、反時計回り1投とします。ハウスに入らなかったLSDの記録は、185.4cmとします。（2点計測は行いません）

また、最低投球回数違反の記録も同様とします。

6. プレーエリアに入る際のユニフォーム・靴

JCA 競技者ユニフォーム規定に合致した統一されたユニフォームの着用を原則としますが、ユニフォームの着用が困難な場合は、カーリングにふさわしい服装での競技を認めます。

※道央ブロック選手権以上の上位大会においては、規定に則したユニフォームの着用が求められることとなりますのでご留意下さい。

ジーンズは適切な服装とは認められないことにご注意ください。

選手・コーチ・チーム関係者がプレーエリアで履く靴はきれいでなければなりません。そうでない場合、プレーエリアに入ることは許可されません。

7. チームタイムアウト、テクニカルタイムアウト

チームタイムアウト・テクニカルタイムアウトはありません。

8. 計時

試合は予選・決定戦ともにランニングタイムで行い、試合時間は72分とします。終了前8分コールを行うのでそれ以降は新しいエンドには入れません。全ての試合でデッドタイムは設けません。エンドが終了したら出来るだけ早くストーンを配置し、エンドを進めてください。

9. アイスへのダメージ

選手は用具、手、体でアイス表面にダメージを与えてはいけません。アイスへのダメージに関しては以下の方針で対処を行います。

- （1）アイスを傷める可能性のある深刻な動作・行動が審判によって見掛けられた場合、または相手チームから判断を求められた場合、審判は確認を行います。
- （2）審判はその動作・行動が「偶然起こった」あるいは「避けることができた」ものだったかどうかを決定します。
- （3）もしその動作・行動が避けることができた場合（例：ストーンをデリバリーしてか

ら長い時間手やひざをアイスの上に置いた・スweepの指示を出す際に、ハウス内の氷の上に手を置いた)、アイスメーカーの補助を得てダメージがあるかどうかを判定します。

(4) ダメージがなければ何も行いません。ダメージがあれば修復します。

10. ラインアップカード

受付時にラインアップカードを提出してください。ラインアップカードを提出した後の変更は認めません。また、補欠選手の登録も不可とします。

11. 計測【競技規則 R11(d)】

セルフジャッジを基本としますが、必要とする場合は、審判に合図してください。

12. 選手の位置【競技規則 R4】

競技規則によります。

13. ホッグライン

本大会はホッグラインセンサーを使用しません。ホッグライン審判員も配置しません。ホッグライン違反が疑われる時は審判員に申し出てください。

14. 得点

そのエンドの得点が合意されたら、ハウスを任されているプレイヤーは速やかにボードに掲示してください。試合が終了した時点で、チームのスキップはスコアカードにサインをしなければなりません。その際にその試合の得点合計等、記載されている事項に間違いがないか確認してサインをしてください。

15. 不当な行為

出場する選手及びコーチは他のカーラーの見本となるべきです。

勝敗やショットの成否によって感情が表に出ること自体は、至極自然な事ではありますが、「氷をブラシでたたく」などの行為は、決して認められるものではありません。そういった行為の制限について、本通知事項を1回目の注意とします。試合中に同様の行為があった場合は、即座に審判員が直接注意を行います。

不当な行為・不快もしくは攻撃的な言動・用具の悪用や選手、コーチや大会関係者への意図的な攻撃は禁止されます。違反行為に対しては、退場処分が科せられる事があります。

16. 喫煙

競技施設内は禁煙です。

17. 携帯電話

競技領域に入る前に携帯電話の着信音は切ってください。

18. 整理整頓

競技領域は常に整理整頓しておき、ごみは全て持ち帰ることを原則とします。

19. 報道

カーリングを行うには報道機関の支援が必要です。したがって、全ての選手、コーチ、チーム関係者は報道関係者の常識的な要求には協力することが求められますが、何か問題がある場合は、審判長や副審判長に伝えてください。

20. 静止画および動画撮影に関する同意

エントリー時点で肖像権等、個人の権利主張は行わないことを承諾したものとみなします。

21. 用具

使用出来るブラシヘッドは WCF Current Approved Product Codes によります。

22. COVID-19（感染症対策）

使用したストーンの消毒並びに勝利チームはシートの清掃をお願いします。

23. その他

- (1) 審判長通知事項および競技規則に記載されていない事柄が発生した場合は、その都度審判長が対応します。
- (2) プログラムに記載されている試合時間は、あくまでも予定時間です。試合経過により変更になる場合や、試合が行われるシートが変更となる場合もありますのでご了承ください。
- (3) 試合が進行されている場合であっても、試合が終了したシートから製氷作業を行う場合がありますのでご了承ください。
- (4) 審判員は配置しますが必要最低限の人数となっていますので、計測以外はカーリングの基本であるセルフジャッジで試合を行ってください。
- (5) 各チームはLSDの記録について協力願います。
- (6) 規則 R1.シート幅の規定は競技場のサイドバンパー幅とします。